

お金の名著 **200冊** を
読破してわかった!

*The
right
investment*

投資 の正解

YouTuber「聞いてわかる投資本要約チャンネル」

タザキ

はじめに

「老後資金のために投資をすべきだ」

そう言われて投資に興味を持ったものの、具体的に何をすればよいのかわからない。

そんな方も多いのではないのでしょうか。

書店の投資コーナーに行けば、「株式投資」「不動産投資」「FX」「暗号資産」……とさまざまな投資手法について解説した本が所狭しと並んでいる。

しかも、「では、まずは株式投資から……」と株式投資の本を数冊ほど手に取ってみても、「インデックス投資をすべき」「割安な個別株を探すべき」「レバレッジをかけて大きく稼ぐべき」と主張もさまざまで、いったい何が正解なのかわからない。

何かしらやってみようと、ある成功者の手法を真似して投資を始めてみるものの、思うようにお金が増えていかない。「自分の投資は間違っているのか？」と不安になり、もっとお金が増える方法はないかと暗中模索する……。

もしあなたがこのように、投資という大きなテーマを前にして迷子になっているのなら、あなたに必要なのは、「信頼性に足る網羅的な投資の知識」ではないでしょうか。

それは、名著と呼ばれる本をたくさん読むことで得られます。

「そんなことを言われても、本をたくさん読む時間はない」という声が聞こえてきそうです。それはよくわかります。現代人はいつも時間に追われています。仕事や趣味、家族との時間も大事です。自由にできる時間を思うように捻出できない人も少なくないでしょう。

私は、学生時代からこれまですっと本の虫でした。特に大学時代からは、受講生みんなでお金を出し合って株を買うゼミを受講していたこともあり、金融・投資系の本を中心に読み漁りました。これまでに読んだマネー本は、300冊以上になります。500ページを超える5000円以上する本も少なくありませんでした。

本書は、時間を有効に使いたい皆さんのために、そんな私がこれまでで得た知識をもとに導き出した「数々の名著を読んだ結論」をシェアするために執筆しました。

自己紹介が遅れましたが、私は「聞いてわかる投資本要約チャンネル」というYouTube

チャンネルを運営しているタザキと申します。

2018年にビジネス系のYouTubeチャンネルが流行り始めたのを見て、自分が学んできた金融の知識や投資の運用成績についてYouTubeで話し始めてみたところ、マネー本の紹介が伸びやすいことに気付きました。そこで、マネー本のレビューを積極的に投稿するようになり、チャンネル登録者は10万人を超えるまでになりました。

マネー本の紹介は、「本を読む時間がない」「良い本をじっくり選ぶ時間がない」という読者のニーズに合っていたようですが、動画の本数が増えるにつれ、今度は「動画が多すぎて、どれが今の自分に合う動画かわからない」という声が聞かれるようになりました。

同時に、多くのマネー本を読んだ自分なりの結論をまとめたいと思うようにもなりました。しかし、それだけの内容をしっかり伝えようと思うと、動画では何時間あっても足りません。

そこで、本書を執筆するに至ったというわけです。

本書では、私がこれまで読んだ本の中から200冊の名著を目的別に紹介するとともに、

それらの本を読んで考えた「私なりの結論」を伝えていきます。けれども、一方的に「この方法が良いですよ！」という本にはしたくありませんでした。性格や経験、目標などによって、その人に合う投資手法は違うはずなので、読者が「自分に合った手法はどれなのか」を自ら考えられる本を目指しました。

そのため、1つのトピックに対し、複数の視点から先人たちの意見を提示することを意識しています。例えば、多くの本で「長期投資はリスクを下げる」と、それが絶対的な答えであるかのように述べられていますが、本書ではその反論となる本もご紹介しています。

私の導き出した結論はお話しするけれども、「投資に、万人に当てはまる絶対の答えはない」という考えのもと、読者の皆さんが多面的な視点で投資に向き合い、自分で情報を取捨選択できるように書いたつもりです。

その結果、本書は投資初心者の方には少し難しく感じられることがあるかもしれませんが、けれども、ここ数年で世界の状況は大きく変わっており、あなたのライフステージも変わっていきます。変化に対応するためには、与えられた答えを鵜呑みにするのではなく、そこに至る背景や反論も知っておくべきだと考えています。もし、もっと深く知りたい内容があれば、巻末の名著リストから本を探して、ぜひそちらも読んでみてください。

第1章では、「とにかくたくさん儲けたい」が本質的な考えではない理由と、投資の目標設定に必要な研究結果や情報をまとめました。

第2章では、一般的に王道と言われているパッシブ運用の内容をメインにしつつも、単には結論付けず、反対意見も紹介しながら「王道の投資」について見ていきます。

第3章では、最新情報も踏まえた複数の流派について解説しました。近年広がってきた「コア・サテライト投資」についても詳しくまとめています。

第4章では、金融理論や経済動向以上に大事な「人間の心理」を見ていきます。実際に投資を行う人間の行動がいかに不合理かを学べる内容です。

第5章では、最終的に銘柄を選択するときに必要な知識をまとめています。

本書が少しでも皆さんの投資生活の役に立てば、著者として大変嬉しく思います。

はじめに

2

第1章 何のために投資をするのか？ 計画・準備の理

15

日本人が総投資家になるべき理由

16

あなたは投資でいくら稼げばいいのか？／「投資で稼ぐ国、日本」と投資しない日本人
／投資はギャンブルではない

金融投資か、自己投資か

28

人的資本への投資／人的資本は株式型か、債券型か？／人的資本の代わりになる資産
一般人でも億万長者になれる

38

日本でミリオネアになるのは難しくない／お金持ちは、豪華な暮らしをしていない／お
金持ちの8割以上は、自力で成功した勉強家

投資額を決めるときに考慮すべきこと

47

今日の「100万円」は、明日になったらいくらになる？／時間価値は無視できない／お金は人生を謳歌するための「手段」に過ぎない／人間が亡くなる間際に後悔すること
FIREを目指すなら

59

FIREを達成する方法／プチFIREを検討するステップ／税金を考えて運用資産を
選ぶ

自分のBS、PLから投資目標を決定する

71

あなた自身のBSとPLを考える／マイホームは資産か？／住宅ローンの利用価値／P
Lをもとに投資金額を決める

第2章 敗者のゲームにならないために 実践・手法の理①

83

代表的な投資手法

84

投資と投機の違い／防衛的投資家と積極的投資家

下手な行動は休むに及ばず

90

投資は、ミスを減らすことで勝てるゲーム／資金移動で起こる3つのミス／パフォーマンスが最も良かったのは、何もなかった人

何よりも重視すべきコスト

ゴットロックス家の寓話／3つの手数料を侮るなかれ／コストの低いインデックス投資
株式を長期で保有する我慢料

104

長期運用の4つのメリット／本質的価値の向上と複利の効果／長期投資でリスクは減るのか？／「買い」の一瞬を捉えるのは至難の業

高配当と優待の落とし穴

115

投資フェーズによって収益の源を変える／インカムゲインの注意点／株主優待の有無で選んではいけない

市場平均に勝つのは無理なのか？

124

インデックスファンドは今後も良い投資先であり続けるか？／市場の歪みがチャンスを生む／「退屈な投資」に耐えられない人々

ドルコスト平均法の弱点

132

市場は読めないからこそ、積み立て投資／定量購入と定額購入はどちらが良いか？／一括投資をすべきケース

第3章 投資手法の最新研究 実践・手法の理②

過去から未来を読み解けるか？

市場を出し抜くことはできない？／心理戦を戦うテクニカルアナリストたち／強いものを買い、弱いものを売る／相場のサイクルから大きな波を読む／長期の変動は供給面から読む

140 139

株式の本質的な価値を評価する方法

企業の価値をどのように評価するのか？／企業の価値を評価する3つのアプローチ／適正価格に収束するのはいつか？／割安価格から適正価格へ／株価を上げるきっかけになるもの

153

レバレッジETF投資の可能性と誤解

レバレッジETFを推奨する人の言い分／レバレッジETFの3つの弱点／長期レバレッジ投資で暴落したときは運任せに

169

自分に合ったアセットアロケーション構築

目指すのは最大化か、最適化か？／投資をサイエンスとして捉える理論／現代ポートフォリオ理論が抱える問題／名著が推奨する資産配分は？／世界の機関投資家が組むポ

180

トフォリオ／ポートフォリオに債券を組み込むべきか？

無視できないブラック・スワン

予測不能なことが頻発する時代／正規分布の代わりに信じるべきもの／大暴落に備える
最もシンプルな方法

200

リバランスをすべきか否か

持ち続けるか、リバランスするか？／リバランスの具体的な方法と時期／「1年に1回」
が最もポピュラー／レンジリバランスなら乖離許容率を設定する

209

調整力に優れたコア・サテライト投資

インデックス運用にオリジナリティを加える／コア・サテライト投資は調整しやすい／
若ければ若いほど、勉強代は安く済む／勉強するほどに挑戦したくなるもの

218

第4章 欲望をコントロールする 人間心理の理

直感が不合理を生み出す

心理による歪みを分析する行動ファイナンス／人間は、喜びよりも損失を大きく評価する／
損失回避と参照点／目の前の損失にどう向き合うか

228

227

なぜ、負け犬にこだわって傷口を広めてしまうのか

損切りに失敗するのは、自信過剰だから？／「後悔したくない」という心理／損切りルールをつくりかた

238

「ストーリー」が判断を誤らせる

後から理由付けをしても再現性はない／ストーリーによって信憑性が高いと感じてしまう

247

バブルの発生と崩壊の心理

世界中でこれまでに発生したバブル／バブルを繰り返す人々の心理／バブル局面での正しい対応

253

ルールとシステムで自制する

「心の会計」を資金管理に活かす／選択肢における初期値の重要性／自分をルールに服従させる

263

第5章 米国株は本当に儲かるのか？ 銘柄選択の理

271

投資信託とETFをどう使い分けるのか？

上場投資信託と非上場投資信託／利便性が高いのは投資信託／日本人のメンタルに合う

272

積み立て投資

世界分散すべきか、米国集中か？

日本人の資産は、円建て資産に偏りがち／直近10年はアメリカ株の時代だった？／米国株の世界シェアに関する予測／バンガード社も世界分散を推奨している

非課税枠制度を優先的に使う

非課税制度は必ず利用すべき／3種類のNISAでコストを抑える／iDeCoには節税効果もある

コア投資の銘柄選択

世界分散をインデックスで実現するか、手づくりするか？／米国株式インデックスや日本を除く全世界インデックスも人気／バランス型ファンドの注意点／インカムを重視する場合のコア銘柄

サテライトで個別株を購入する前に

サテライト銘柄に何を選ぶか？／バランスシートで安全性の高い企業を抽出する／損益計算書とキャッシュフロー計算書／投資方針によって見るべき指標は違う／企業の未来を予想するには？

おわりに

327

投資家 YouTuber がおすすめする200冊！お金の名著リスト

331

本文デザイン・DTP・校正 株式会社RUHIA